

千歳市防災学習交流センタークライミングボード (山岳救助訓練板) 利用に関する注意事項

クライミングは「本質的に危険を伴う」という認識の下で行われるものだということを理解してください。

1. 施設の点検等

利用の前には、人工ホールド、パネル、支点等のボルトの緩みがないかなどの点検を必ず行い、必要であればボルトの増し締めを行ってください。

人工ホールドに傷みなど不具合があった場合は、事務室に必ず連絡してください。

2. 使用上の注意事項

利用する前にストレッチとウォーミングアップを充分に行ってください

ロープの状態の確認を行ってから使用してください。

爪が伸びている状態でクライミングしないでください。

酒気を帯びてのクライミングおよび確保は絶対にしないでください

髪の長い方は髪を留めて利用してください。

クライミングに適した服装で利用してください。

クライミングは専用のクライミングシューズまたは底の汚れていない運動靴を使用してください。土足や登山靴等での使用はできません。

人工ホールドは緩んだり、回転する可能性がありますので、ロープなしでのクライミングは絶対にしないでください。

ロープは最低長さ30m以上のものを使用してください。

トップロープの支点は、確認のうえ、安全環付カラビナを使用し、安全環を必ず締めて使用してください。安全環のないカラビナを使用する場合には、2枚使用し、ゲートの向きを逆にして使用してください。

クライミング前には次の4点をクライマー(登る人)とビレイヤー(確保する人)で確認してください。

- (1) ハーネスのベルトが折り返されているか。
- (2) ロープが8の字結びで確実にクライマーのハーネスに結ばれているか。
- (3) ロープが確保器に正しくセットされているか。
- (4) 確保器がビレイヤーのハーネスのビレイループに安全環付カラビナで確実にクリップされているか。安全環のロックが閉まっているか。

危険ですのでハンガー(確保支点)には、絶対に指をかけないでください。

ボードの縁はつかまないでください。

鋭利なものでパネルを傷つけないでください。

クライミングボードはゆずりあって利用してください。

登っている人がいる場合には、確保している人の邪魔をしたり、登っている人の下を通らないでください。

事故が発生した場合は、利用者は直ちに必要な措置をとると共に速やかに事務室に連絡してください。

3. その他の注意事項

施設内は禁煙です。

空き缶、ゴミ等は各自で処理し、利用後には周辺の清掃を行ってください。

利用にあたっては施設管理者の指示に従って使用してください。